

平成26年度(平成25年度決算)事業評価シート(半田市議会)

委員会名 文教厚生委員会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●子育て施策が充実しているまちになっています。 ●子どもと子育て家庭を地域で支え合うまちになっています。	部課等名	子育て支援部 子育て支援課	評価表 整理No	20-014
事務事業名	子育て支援事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)	○	「子どもの健やかな育ちと親の子育て力の向上が図られる」という目的に対して、一般的なサービスは行われており、一定の安心を与えている。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		内容が違う多くの事業内容でありながら、事業を「子育て支援事業」の一つでまとめて良いのか。また地域で支えあう子育てを推進するために、子育て支援施設の中心としての役割を強化する必要がある。 常に変化する市民のニーズとのマッチングに対応する必要がある。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)	○	
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		市長の重要施策3本柱に子育て支援施策を掲げており、また少子化対策を考えると、事業の主体について、市が責任を持って行う必要がある。しかし事業の内容によっては、民間委託を検討するべきである。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援事業の拠点施設として、各関係団体のネットワーク作りや情報の共有、人材育成、相談事業等を中心に事業を進めること。 「子育て支援事業」の事業数が多いため、目的別に事業を分割すること。 地域で支えあう子育て支援という観点に沿った事業が不足しているため、積極的に事業改善をすること。 福祉部と連携しながら、障がい児も気軽に利用できるセンターにすること。 ファミリーサポート事業について、援助会員と依頼会員、地域での人数の違い等が課題との声もある。利用者やコーディネーターに確認しながら、誰もが利用しやすい事業を進めること。
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> 市長の重要施策3本柱の一つとして、市民ニーズを把握し、事業改善に沿った予算編成をすること。
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の質の向上を図ること。